

発刊にあたって

根室市長
石垣 雅敏



この度、当市水産業の現状を紹介する「令和2年度版 水産ねむろ」を発刊致しました。

当市の水産業は、北方海域の豊かな水産資源を背景に、北洋漁業の開拓とともに発展を遂げて参りましたが、この間、度重なる国際漁業規制の強化等によって、沖合漁業は縮小を余儀なくされ、昨年においては、当市水産業の大宗をなすサンマをはじめ、秋サケやコンブなどの主要魚種が軒並み漁獲不振に陥り、年間総水揚量が市制施行以来、初めて5万トンを割り込む「未曾有の大不漁」に見舞われました。

更に、これに追い打ちをかけるかのように、新型コロナウイルス感染症の影響等により、水産物の需要が落ち込むなど、当市水産業はもとより、市中経済全体に大きな影響を及ぼしました。

こうした状況にあっても、当市が将来に亘り、国内有数の水産物供給基地としての役割を果たしていくためには、国際漁業規制や海洋環境に翻弄されない持続可能な漁業生産体制の構築が急務であり、地域の特色を生かした「つくり育てる漁業」の確立が最も重要となりますことから、その実現に向け、果敢に挑戦して参ります。

また、昨年6月にオープンした「根室市栽培漁業研究センター」の機能を最大限に活用し、これまで根室市水産研究所で取り組んできた「ホッケイエビ」や「ハナサキガニ」等の種苗生産及び放流体制の拡充を図るとともに、現在取り組んでいるベニザケやタラバガニ養殖の事業化に向けた先駆的な取り組みなどを通じて、強い「水産都市・根室」の再興を目指して参ります。

本紙を通じて、当市水産業の現状をご理解いただき、今後とも当市水産業の発展に向け、お力添えを頂ければ幸いに存じます。

結びに、本紙作成に際し、ご協力頂いた関係団体の皆様に心より感謝申し上げます。

令和3年3月